

生徒と区長のタウンミーティング

開催日 : 令和5年6月24日 (土)

開催場所 : 明治大学付属中野中学・高等学校

テーマ : 中・高校生から中野区への提案

中野区の姉妹都市（ソウル市陽川区）との国際交流に関する提案・意見

中野区では地域で暮らす外国人との関わりが希薄であるとの声が多い。そこで、中野区と姉妹都市関係を結ぶ韓国のソウル市陽川区と、学生同士で交流する機会があった方がいい。学生の交流を通して、お互いの文化を理解し、多文化共生社会の実現に向けた議論をしたい。

学生同士の交流にあたっては、お互いの伝統的なお祭りやイベントへの参加や、スポーツの体験などをすることも、文化を知り合う良い機会になると思う。

自主生産品の流通・販売に関する意見

自分たちは「明中ブランドを確立しよう」をスローガンに、小松菜の水耕栽培や制服のリメイクなど、製品の企画・製作に取り組んできた。しかし、販売や流通には着手できておらず、ノウハウがない。自分たちに中野区主催のイベントへ参加・出店させてもらい、販売のノウハウを学ぶ機会にさせてほしい。

都市型の養蜂事業に関する意見

自分たちは現在、日本ミツバチの養蜂に向けて企画をしている。蜜源になる植物を植えることで緑化が進み、最終的に中野区産はちみつを販売できれば、全国的にアピールできる取り組みになると思う。しかし、養蜂場所の確保や地域住民への理解・協力を得る部分で課題が生じている。ぜひ中野区と協力して取り組みを進めたい。

中高生の学習スペース（居場所・遊び場）に関する意見

現在、中高生はSNSを中心に交友活動をしている。一方、友人と直接会って遊ぶ機会の減少や体力の低下など問題がある。また、中野区には小学生以下の遊び場の数と比較して中高生の遊び場や居場所が不足している。そこで、中高生が外で友人と直接会って遊んだり勉強したりすることができる施設を整備することで、これらの問題の解決の糸口とできるのではないかと。

中高生の居場所は、単なる遊び場や勉強場所ではなく、中高生の趣味や知見を広げられるような場所にしてほしい。例えば、学校には無い3Dプリンターやレコーディングスタジオなどの設備を設けるほか、区内の大学生・専門学生による講座が開かれると、面白いと思う。また、中高生自身が施設管理のボランティアをしたり、スポーツ大会を実施するなどの企画があってもいいと思う。